

あかつき



あかるく かがやく つしまの きぼうのおか

津島市立暁中学校便り

令和6年1月17日(水)

命を守る

今日1月17日は、阪神・淡路大震災が発生した日です。29年前(平成7年)の出来事です。

その日のことは、今でも記憶に残っています。巨大なビルディングが傾いたり、高架になっている高速道路が根元から倒れたりしている映像が、テレビに映し出されていました。しかし、とても現実のものとは理解できず、頭の中がしばらく混乱しました。そして、じわじわと恐怖感に包まれました。

今年の1月1日には、能登半島地震が発生しました。2週間以上が経っていますが、未だに、断水・停電・道路の寸断等が続いているところがあります。これ以外にも、驚くことがたくさんあります。

その一つは、国の登録有形文化財となっている寺院の被害です。その寺院は、3年前の2021年に耐震工事を終えたばかりだそうです。しかし、この地震によって、基礎部分から大きく倒壊したり、門が外れたり、建造物すべてに被害が確認されているとのことでした。人間の力は自然の力には及ばない、ということでしょうか。

今回のニュースの中には、心を打たれる内容のものもありました。それは、避難所での中学生の活動です。避難者の心を少しでも和ませるために、模造紙で壁新聞を作成し、掲示していました。また、避難者が多く高齢者も多いため、エコノミークラス症候群が心配されるのですが、その予防のために、避難者一人一人とじゃんけんゲームをして回り、無理のない程度に身体を動かす工夫をしていました。そして、ある避難者に「冷たい手だね」と言われたときに、「ずっと外でカレーを作っていたから」と答えていました。

東日本大震災「釜石の奇跡」の中で紹介された、釜石東中学校が掲げている目標「助けられる人から助ける人へ」が思い出されました。暁中生も、もしもの時には、周りの人々や地域に貢献できるよう成長してくれることを願っています。

第3日曜日は家庭防災の日



1月21日(日)は、家庭防災の日です。

今月のテーマは、「空気が乾燥する季節です。火の不始末や地震等による火災に備えて、消火器や消火用バケツなどの用具の点検をし、火の元には十分気をつけましょう」です。

冬休み中も、火災に関係するニュースが何件かありました。また、阪神・淡路大震災も能登半島地震も、地震だけではなく大規模な火災が発生しました。そして、地震による被害のため消火活動も難航し、なかなか鎮火しませんでした。今月のテーマにあわせ、再点検をする必要を実感しました。火災についても、「まさか」から「もしも」に考え方を切り替えて、備えることが大切です。